

ビジョン
napnap ベビーキャリア Vision
取扱説明書 / 保証書

商品に関するお問い合わせ

株式会社 ナップナップ
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-5-7 三ノ輪ビル 7階

☎ **0120-900-720**

napnap フリーダイヤル 受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日を除く）

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

本製品を他の方にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

・メーカー品番：NBC-013・管理番号：DT-013

● ご使用の前に

このたびは当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の際はこの取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。また、本製品を
他の方にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡してください。

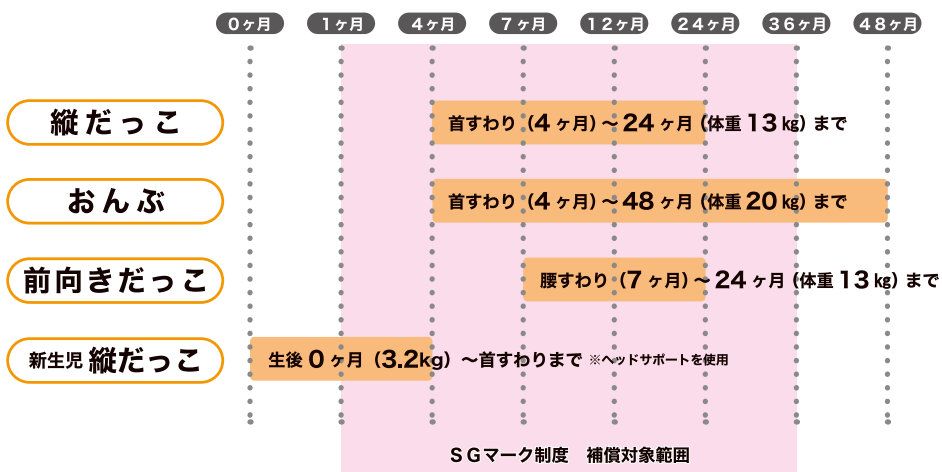
お問い合わせ先

株式会社ナップナップ
東京都荒川区東日暮里1-5-7三ノ輪ビル7階

☎ **0120-900-720**

受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日を除く）

● ご使用時期の目安



SGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。

- ・縦だっこ：首がすわった乳児期（4ヶ月）～24ヶ月（体重13kg）まで
ただし、ヘッドサポートをつけた場合には、縦抱っこは生後1ヶ月から
- ・おんぶ：首がすわった乳児期（4ヶ月）～36ヶ月（体重15kg）まで
- ・前向きだっこ：腰がすわった乳児期（7ヶ月）～24ヶ月（体重13kg）まで

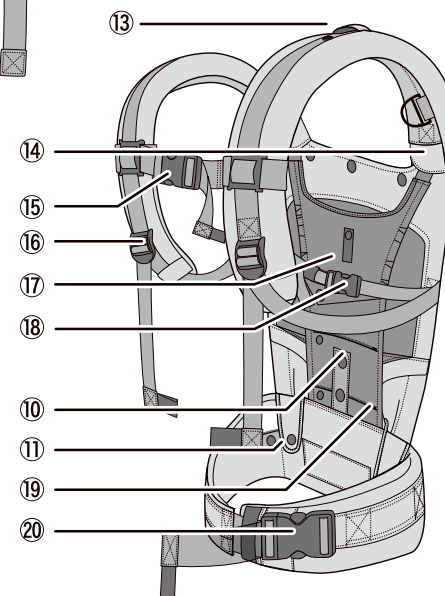
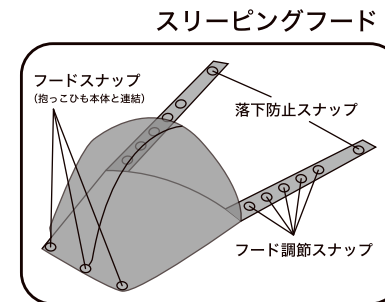
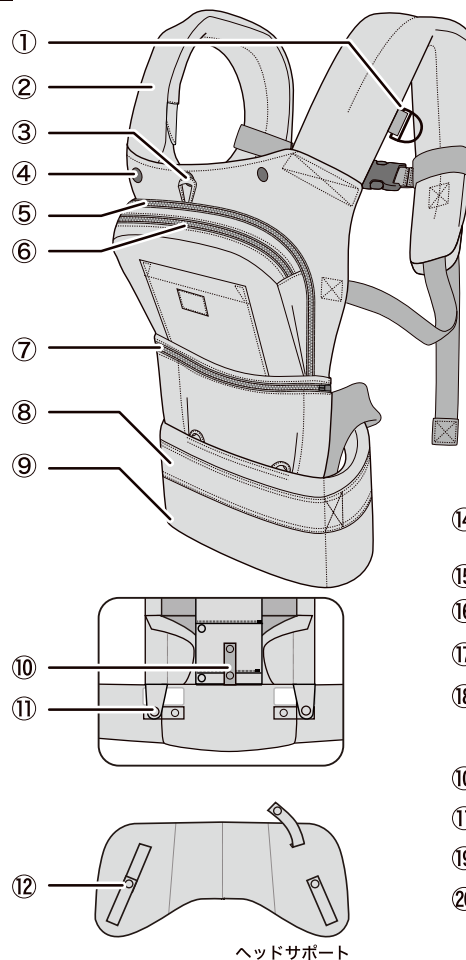
注意

【おんぶ】 首すわり（4ヶ月）～48ヶ月（体重20kg）までご使用いただけますが36ヶ月（体重15kg）～48ヶ月（体重20kg）まではSGマーク制度の対象外です。

【新生児縦だっこ】 ヘッドサポートつけた場合には、生後0ヶ月～首すわり（4ヶ月）までご使用いただけますが、生後0ヶ月～生後1ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。

● 各部名称

- 製品を取り出した後は部品がそろっているか、バックルやスナップ等に破損がないかを確認してください。
- 欠品や破損の際は弊社お客様サポートセンターまですみやかにご連絡ください。



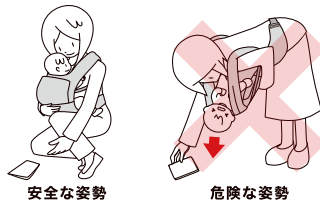
ヘッドサポート

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------------|
| ① Dカン | ⑧ ボトム収納ベルト | ⑮ ブリッジバックル |
| ② 肩ベルト | ⑨ ウエストベルト | ⑯ 肩ベルトアジャスター |
| ③ コンパクト収納ループ | ⑩ コンパクト収納ベルト | ⑰ おんぶ補助（落下防止）ホルダー |
| ④ フードスナップ | ⑪ 股幅調節フラップ | ⑱ 落下防止ベルト |
| ⑤ メッシュ切替えファスナー | ⑫ ヘッドサポート固定テープ | ⑲ ベスト調節ファスナー |
| ⑥ ポケット | ⑬ フードループ | ⑳ ウエストバックル |
| ⑦ ポジション切替えファスナー | ⑭ 落下防止バックル | ※ 付属品：バックルカバー |

警告 誤った取り扱いをすると、死亡事故につながる恐れがある内容です。

■ 落下の危険性

● お子さまが開口部から落下する恐れがあるため、着脱の際や身体を傾ける場合はお子さまが落下しないよう手で支えてください。しゃがむ時は、お子さまの頭が下向きにならないよう、腰ではなく膝を曲げてください。



● 各部にあるバックルは確実にとめ、ベルト・ストラップの長さをお子さまや使用者に合わせて正しく調節してください。誤った使用方法によりお子さまが落下する恐れがあります。

● 本製品を使用中に、大きく前かがみになったり反ったりしないでください。お子さまが滑り落ちる恐れがあります。

● 装着の際、お子さまの足が抱っこひもの両側からそれぞれ出ているのを確認してください。抱っこひもの片側から両足が出た場合、お子さまが開口部より落下する恐れがあります。

● 本製品を装着後はバックルなどが確実にとめられているか、ベルト・ストラップに緩みがないか、服などをバックルが噛んでいないかを必ず確認してください。特に使用者の背面側にあるバックルはより注意して確認してください。

■ 窒息の危険性

● 生後4ヶ月未満の乳児は、使用者の体に顔を強く押し当てられた際、本製品内で窒息するおそれがあります。お子さまのお腹と使用者の間に手のひら一枚分の間隔を取るように肩ベルトを調節してください。

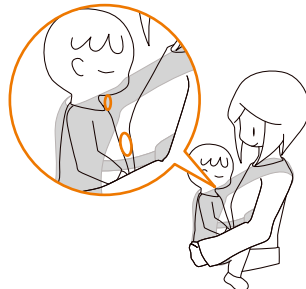
● 本製品をご使用の場合はお子さまを保護者の体に強く縛りつけず、お子さまの頭部に動かせられる程度の余裕があるよう装着してください。

● お子さまの状態に注意しながら使用し、気道をふさぐことがないようにしてください。お子さまのあごと胸の間に指2本分の間隔が必要です。

● お子さまの顔が本製品に埋もれてしまう場合は、お子さまのお尻の下にタオルやクッションなどを敷き、顔が埋もれないようにしてください。

● 授乳後30分の間は本製品を使用しないでください。お子さまのおなかを圧迫することにより、嘔吐・窒息などのおそれがあります。

● 前向き抱っこ状態でお子さまが寝ってしまった場合、前向き抱っこを中止してください。窒息の危険があります。



■ 使用時の危険性

● 実際にお子さまに使用する前に取扱説明書をよく読み、お子さまのいない状態で着脱の練習をしてからご使用ください。また、実際にお子さまに使用する際、慣れるまで周囲の人に手伝ってもらいながら使用してください。

● ヘッドサポートを使用し、生後0ヶ月(3.2kg)からの乳児に装着する場合、早産児及び呼吸疾患等のあるお子さまには、生後0ヶ月(3.2kg)を過ぎても使用を控え、医師にご相談ください。

● 車両(自動車・オートバイ・自転車など)を運転中に使用しないでください。

● 取り扱い説明書に記載されていないポジションで使用しないでください。

● 取り扱い説明書に記載されている以外の目的で使用しないでください。破損・故障の原因になります。

● 有機溶剤・酸・アルカリ・アルコール・薬品・熱湯などを製品にかけないでください。変形・変質し、事故につながるおそれがあります。

● 本製品を高温の場所や火の近く、直射日光のあたる場所、屋外等に放置・保管しないでください。バックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損傷が生じる恐れがある内容です。

■ 着脱の注意

● 本製品を着脱する際は、ベッドやソファなどの安全な場所で、可能な限り低い姿勢で行ってください。また、周囲に人がいる場合は可能な限り手伝ってもらいながら装着してください。おんぶの際は特に注意が必要です。

● 首のすわらない乳児に使用する場合は、必ずヘッドサポートを使用し、新生児ポジションでご使用ください。

● 製品にほつれやキズ・破れがあった場合、またはバックルやフックが破損した場合は速やかに使用を中止してください。

● 抱っこで使用する場合は、お子さまの頭部により、使用者の前方や足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時も十分注意してください。

● ヘッドサポートを使用し、生後0ヶ月(3.2kg)からの乳児に装着する場合は使用者とお子さまが向かい合うよう必ず縦だっこをご利用ください。おんぶは出来ません。

● 使用中の摩擦・汗などにより、衣服に色が移る可能性があります。

● 製品のストラップ部分等をほどこいたり切り落とさないでください。

● 湿った状態、水につけた状態で長時間放置しないでください。

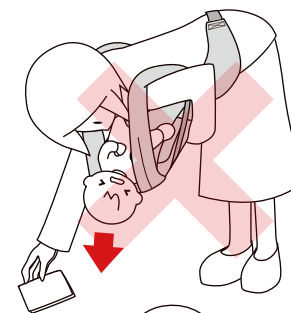
■使用時の注意

- バックルの開口部にお子さまの手や指が入らないよう注意してください。隙間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。製品をご使用にならない時は開口部を作らないよう、必ずバックルをはめ込んで保管してください。
- 連続して使用する際はお子さま、使用者の体調の変化や装着状況を確認しながら使用してください。また、連続して2時間以上の使用はしないでください。
- 使用者の体調がすぐれない、体に痛みを感じている、飲酒および薬類を服用している場合などは使用を控えてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 使用者が痛みや不快感を覚えた場合は使用を中止し、医師にご相談ください。
- 家事をしながらの使用は使用者が転倒するおそれがあります。
- 料理中に使用すると使用者やお子さまにやけど等のおそれがあります。
- お子さまが予期せぬ動きをしたり、本製品の中で動くことにより、使用者がバランスをくずす恐れがあります。使用中はお子さまの位置や姿勢の調整ができるよう常に両手が使えるようにしてください。
- 抱っこひもを着用したまま走ったり飛び跳ねたり寝転んだりしないでください。
- 使用中の喫煙や飲食には十分注意してください。やけどの恐れがあります。
- 電車など込み合っている状況で使用する場合はお子さまの状態をしっかりと確認してください。
- 妊娠中は使用しないでください。
- 抱っこひもを着用したままスポーツなどをしないでください。
- 使用中は周りに注意し、お子さまがぶつからないようにしてください。

■使用時の注意

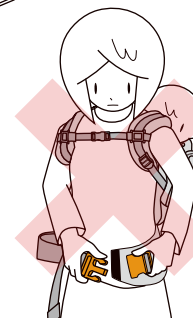
1. しゃがむ時の注意

- 落し物を拾う時や、しゃがみこんだ時などにお子さまが落下するおそれがあります。お子さまが落下しないように手で支え、しゃがむときはひざを折るようにしてください。



2. お子さまをおろす時の注意

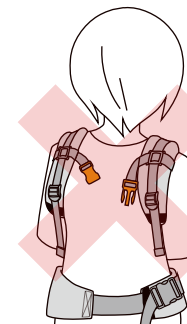
- お子さまをおろす時、ウエストベルトを先に外してしまうとお子さまが落下するおそれがあります。お子さまの安全を確保できる場所でブリッジバックルを外し、肩ベルトを外してお子さまをおろした後、ウエストベルトを外してください。



3. とめ忘れ注意

- 各種バックルはカチッと音がするまでしっかりととめてご使用ください。

特に縦だっこ、前向きだっこの場合、背中のブリッジバックルを目で見て確認できないため、バックルをとめた後、左右に引っ張って外れないか確認してください。



4. ベルトの調節

- 肩ベルト・ウエストベルト・ブリッジベルトなどが緩んでいると思わぬ事故につながるおそれがあります。

使用者、お子さまが苦しくない程度にしっかりとベルトを締め、安全にご使用ください。



■ 使用時の注意

5. おんぶは慎重に

- お子さまをおんぶする際は必ず安全な場所で行ってください。

説明書に記載されていない方法でおんぶをする際は十分にご注意ください。

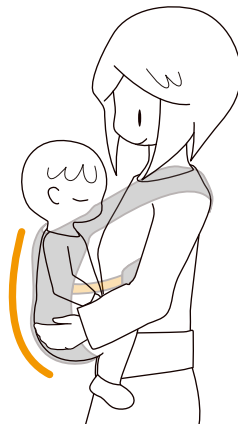
お子さまが落下して事故につながるおそれがあります。



■ しっかり調節

1. だっこの姿勢

- ①抱っこひもをご使用の際はウエストベルトをしっかりと締めてください。
- ②お子さまの位置は使用者のあごがお子さまの額に届く高さが理想的です。
- ③お子さまの背中では緩やかな曲線となるよう、肩ベルトを調節してください。緩すぎて使用者とお子さまの間に隙間が空きすぎたり、締めすぎてお子さまの背中が反ったりしないよう注意してください。



● SG マーク制度

SG マークが表示された製品は安心してお使いいただけます。

SG マーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。



- 対面抱っこ：首がすわった乳児期（4 ヶ月）～ 24 ヶ月（体重 13 kg）まで
ただし、ヘッドサポートをつけた場合には縦だっこは生後 1 ヶ月から
- おんぶ：首がすわった乳児期（4 ヶ月）～ 36 ヶ月（体重 15 kg）まで
- 前抱っこ：腰がすわった乳児期（7 ヶ月）～ 24 ヶ月（体重 13 kg）まで

SG マークが表示された製品は安心してお使いになれますが、消費者の皆様が正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生した場合は「製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

※但し購入後 3 年以内です。

賠償についてのご注意

認定した製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払することになります。

賠償金の請求について

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求するときは別欄の項目を事故が発生した日から 60 日以内に下記の協会、または協会が指定する処に届けてください。

製品安全協会
〒110-0012
東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2 階
TEL : 03-5808-3303

事故賠償に必要な項目

事故の原因となった SG マーク表示の製品
イ) 製品の名前、SG マーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月

事故発生状況

イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況

被害状況

イ) 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度

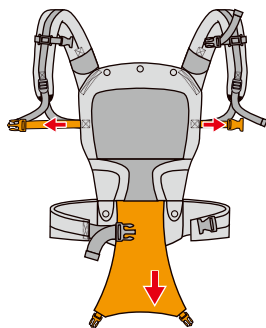
●機能紹介

落下防止機能

⚠警告：本製品をご使用の際はお子さまの落下を防ぐため必ず【落下防止ベルト】をご利用ください

●抱っこひもを広げる

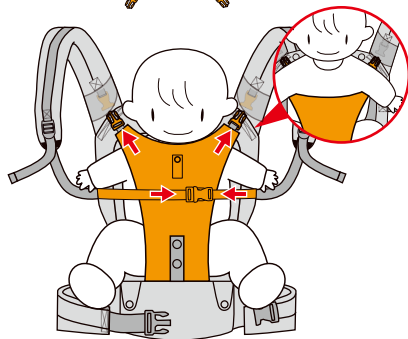
- ①【落下防止ホルダー】【落下防止ベルト】のバックルを外し、ベッドやソファなどの安全な場所に抱っこひもを広げる。



●落下防止ホルダー / 落下防止ベルトを装着する

- ① お子さまをのせて【落下防止ホルダー】をかぶせ、バックルをとめる。

※1. お子さまの腕は成長に合わせて【落下防止ホルダー】のバックルの下から、または上から通す。



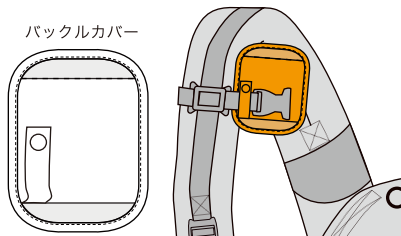
- ② 落下防止ベルトをとめる

●お願い

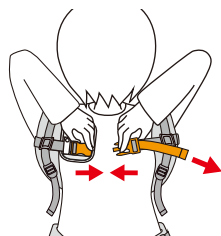
【落下防止ベルト】は様々なパターンの事故を未然に防ぎお子さまの安全を守ります。抱っこひもをご使用の際は必ず取り付け、正しくお使い下さい。

バックルカバー

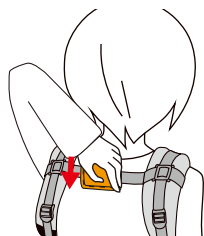
バックルカバー



- ① バックルカバーをブリッジバックル受け側の根元に装着する。



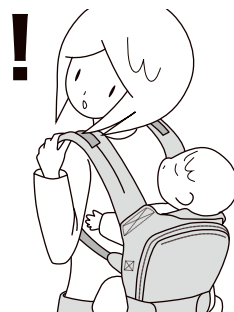
- ② ブリッジバックルをとめ、ブリッジベルトを調節する。



- ③ 面ファスナーを貼り付けて完成。

スリーピングフード

⚠警告：スリーピングフードのひもがお子さまの首に巻きつかないように必ず落下防止スナップをとめて本体に固定してください。



！
お子さまが寝てしまった場合、【スリーピングフード】を使って”首かっくん”を防止できます。

【スリーピングフード】はフードの紐先端を本体肩ベルトにある【フードループ】を通してスナップを止めておくことで、おんぶをした際でも一人でフードを取り付けられます。

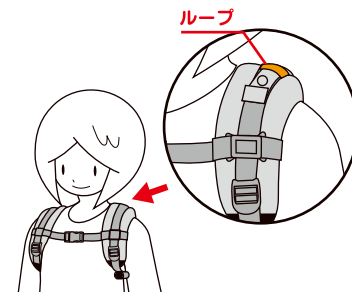
●抱っこの際は

- ① 左右の落下防止スナップを外し、フードを引っ張り上げてお子さまにかぶせ、フードの【フード調節スナップ】を本体側の【フード調節スナップ】へとめる。

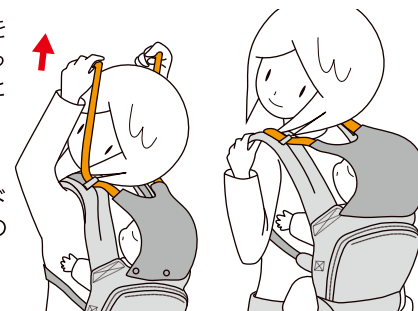


●おんぶの際は

- ① 肩ベルト上にある【フードループ】にフードの先端を通し本体側の【フード調節スナップ】へ【落下防止スナップ】をとめる



- ② フード使用の際は【落下防止スナップ】を外し、フードのストラップを上方に引っ張るとフードをお子さまに装着することが出来る。



- ③ 適切な長さまで引っ張り上げたらフード側の【フード調節スナップ】を本体側の【フード調節スナップ】へとめて完成。

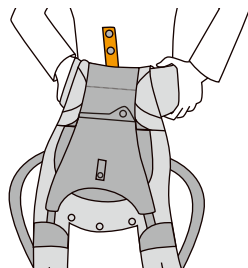
●機能紹介

コンパクト収納

公園などでお子さまを一時的におろした時、簡単にコンパクトにすることができます。

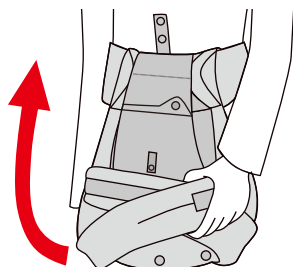
1. コンパクト収納の準備

- ① お子さまをおろしたら、ウエストベルト内部についている【コンパクト収納ベルト】を引っ張りだす。



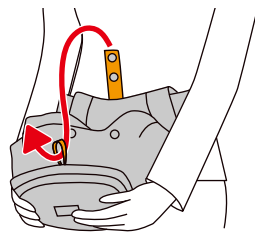
2. 抱っこひもをまとめる

- ① 肩ベルトを二つ折りにして抱っこひもを下からぐるっと巻き上げる。



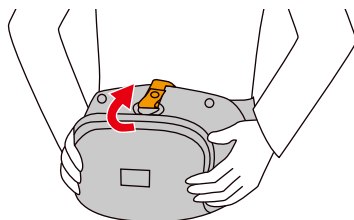
3. コンパクト収納ループにベルトを通す

- ① 巻き上げたら垂れているベルトなどを内側に折り込み、【コンパクト収納ベルト】を【コンパクト収納ループ】に通す。



4. スナップボタンをとめる

- ① 【コンパクト収納ベルト】を折り返し、スナップボタンをとめる。抱っこひもを背中側にぐるっと回せば完成。

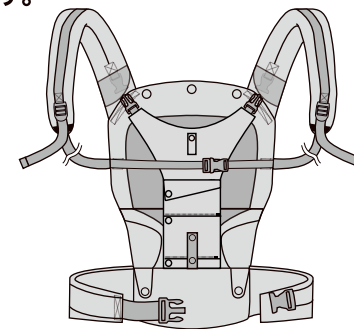


折りたたみ方

持ち運びの際や保管の際はくるくると丸めコンパクトに収納できます。

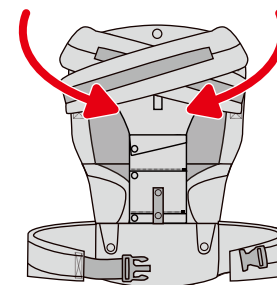
1. 抱っこひもを広げる

- ① 抱っこひもを広げる。



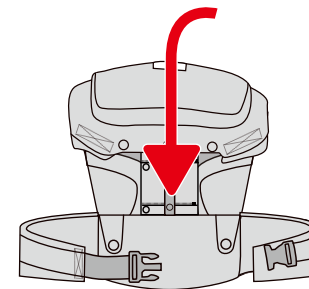
2. ベルトを折りたたむ

- ① 肩ベルトを二つに折り中央に折り込む。
- ② ベルトなどを内側にしまいこむ。



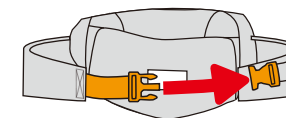
3. くるくる丸める

- ① ベルトなどを巻き込みながらウエストベルトの方へくるくると丸めていく。



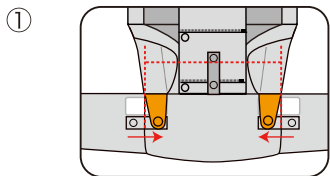
4. ウエストバックルをとめる

- ① ウエストベルトの上まで来たらウエストベルトで包むように覆い、ウエストバックルをとめ、調節する。



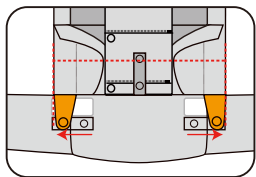
● 縦だっこ

使用時期目安：首がすわった乳児期（4ヶ月）～24ヶ月（体重13kg）
（使用者の視界を妨げない範囲でご使用ください）



■スモールポジション：

月齢：首すわり～10か月まで（身長72cmまで）
点線の内側に股幅が収まるよう取り付けてください。



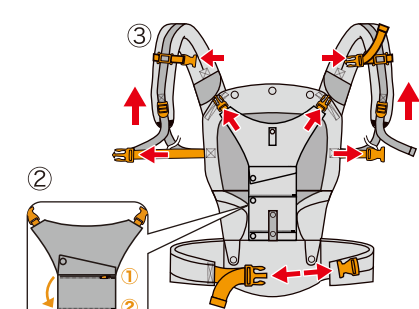
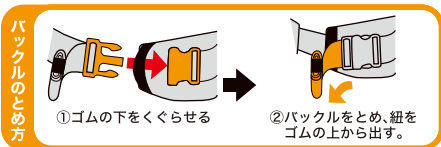
■ワイドポジション：

月齢：10か月～（身長72cm～20kgまで）

- 1 ①股幅をお子さまの大きさに合わせる
②落下防止ホルダーをお子さまの大きさに合わせる
③抱っこひもの各バックルを外す

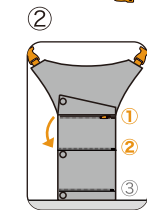


- 2 ウエストベルトを巻き、ウエストバックルをゴムの下を通しとめる。

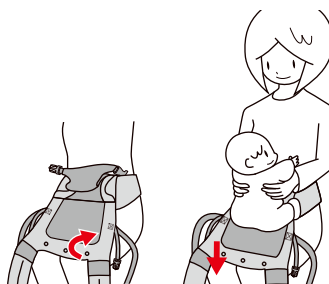


落下防止ホルダーは①と②のファスナーを合わせて閉じる

*お子さまに対してホルダーが小さい場合、ファスナーを閉じずに使用して下さい。その際はお子さまの顔にホルダーが被らないよう注意してください。



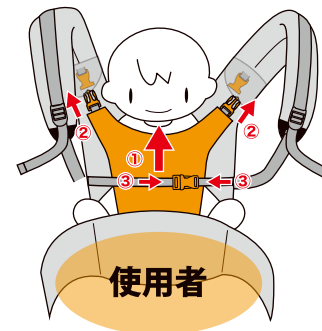
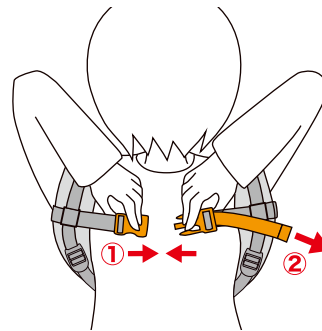
- 3 ①【ウエストバックル】が体の横に来るように【ウエストベルト】を回す。
②右手で【ウエストベルト】を支えながら左手で紐を持ち、前方に引っ張って締める。
③抱っこひもが体の前に来るようウエストベルトを整える。



- 4 ①お子さまをのせる前に【落下防止ホルダー】をウエストベルトの内側に軽く挟み込んでおく。
②お子さまを抱き上げ抱っこひもに乗せる。

- 5 お子さまを抱っこひもで包むように持ち上げ、手で支えながら左右の肩ベルトを肩にかける。

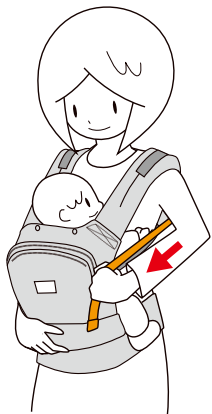
⚠警告：お子さまをのせるときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。



- 6 ①首の後ろで【ブリッジバックル】をとめる。
②ブリッジベルトを苦しくない程度に締める。

- 7 ①【4-①】でウエストベルトに挟んでいた【落下防止ホルダー】を引っ張り上げる。
②肩ベルトの根元についているバックルにとめる。
③【落下防止ベルト】をお子さまと使用者の間にとめる。

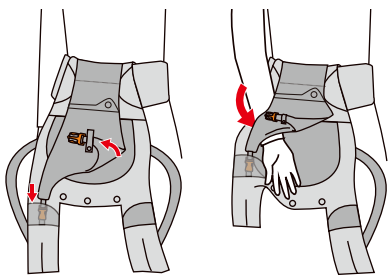
● 縦だっこ：装着後のチェック



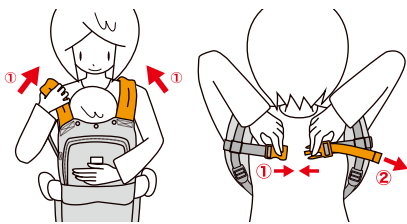
- 8** お子さまのお尻を片手で持ち上げながら左右の肩ベルトをそれぞれ調節して完成！

お子さまのおでこに使用者のあごが届くぐらいの高さが理想的です。

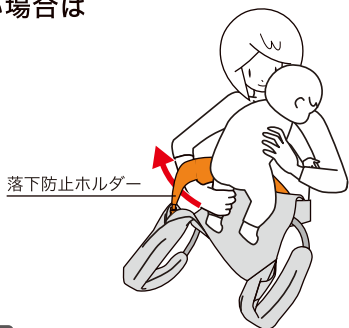
落下防止ホルダー・ベルトが付けにくい場合は



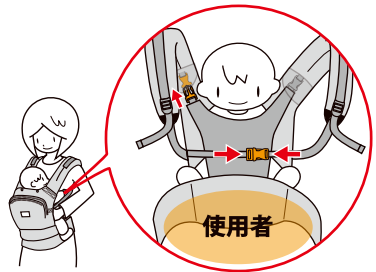
- 1** 左右どちらかの落下防止ホルダーのバックルをとめ、もう片方のバックルは安全ベルトループに通す。抱っこひもとホルダーの間から手を出す



- 3** お子さまの体をしっかり支えながら肩ベルトを肩にかけブリッジバックルをとめる。ブリッジベルトを適度に調節する。



- 2** お子さまの足を持ち、外に向けて引き抜くように足を出し、キャリアの中にお子さまの体を入れる。

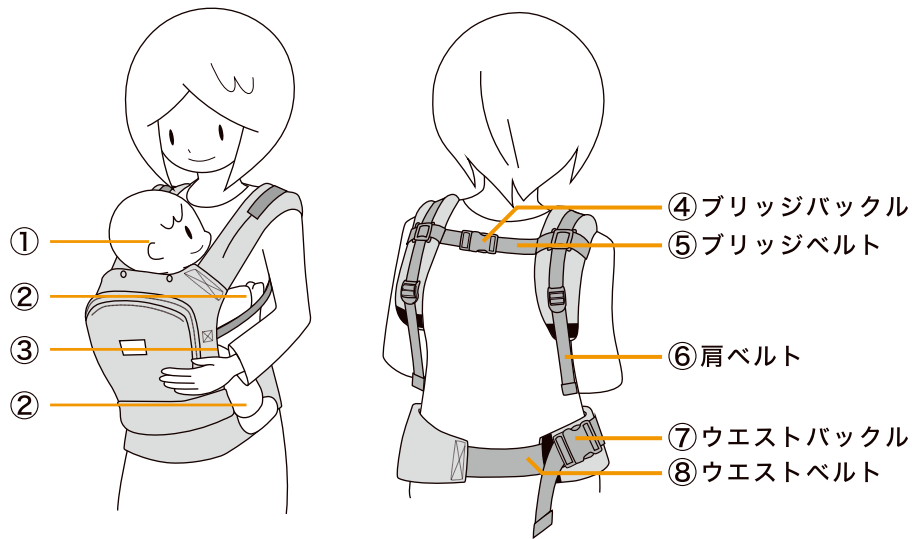


- 4** 隙間から手を入れ落下防止ホルダーと落下防止ベルトのバックルをとめる。P15-8 に移動する。

安全にお使いいただくために装着後の状態を確認してください。

チェックポイント

- ① お子さまの頭部が使用者の視界を妨げていない
- ② お子さまの両腕・両足が出ている
※お子さまの腕は成長に合わせて肩ベルトの上下どちらかから出す。
- ③ 落下防止ホルダー / 落下防止ベルトがとまっている
- ④ 背中のブリッジバックルが確実にとまっている
- ⑤ ブリッジベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑥ 左右の肩ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑦ ウエストバックルが確実にとまっている
- ⑧ ウエストベルトが使用者の体格に合わせて調節されている



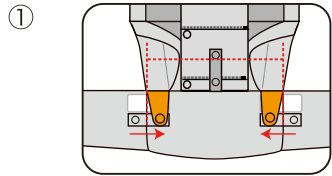
- ご使用の際はお子さまを手で支えてください
- 正しく装着できていない場合はもう一度最初から取り付け、調節を行ってください。

⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● おんぶ

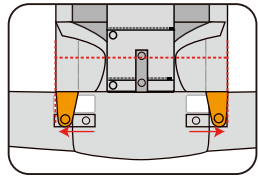
使用時期目安：首がすわった乳児期（4ヶ月）～48ヶ月（体重20kg）
（36ヶ月から48ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。）

首が完全に座るまでおんぶはしないでください。



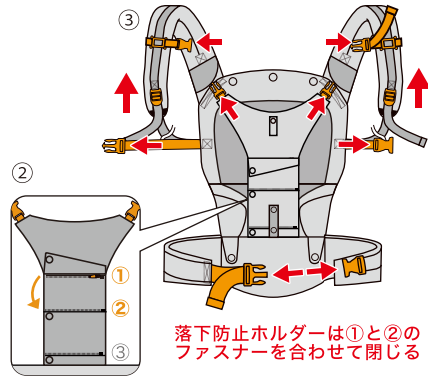
■スモールポジション：

月齢：首すわり～10か月まで（身長72cmまで）
点線の内側に股幅が収まるよう取り付けてください。



■ワイドポジション：

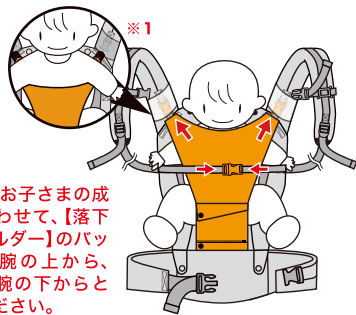
月齢：10か月～（身長72cm～20kgまで）



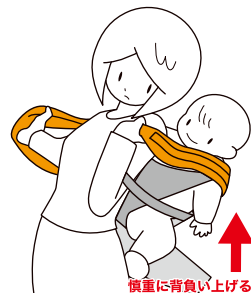
落下防止ホルダーは①と②のファスナーを合わせて閉じる

*お子さまに対してホルダーが小さい場合、ファスナーを閉じずに使用して下さい。その際はお子さまの顔にホルダーが被らないよう注意してください。

- 1 ①股幅をお子さまの大きさに合わせる
- ②落下防止ホルダーをお子さまの大きさに合わせる
- ③抱っこひもの各バックルを外す



※1. お子さまの成長に合わせて、【落下防止ホルダー】のバックルを腕の上から、または腕の下からとめてください。



慎重に背負い上げる

- 2 ベッドやソファなど安全な場所に抱っこひもを敷き、お子さまをその上に寝かせ、【落下防止ホルダー】をかぶせバックルをとめる。

【落下防止ベルト】をとめ、お子さまがしっかり収まっているか確認する。

- 3 肩ベルトに手をかけ、お子さまを背中で迎えに行くように体を反らせながら、ゆっくりと肩ベルトを持ち上げる。

お子さまが落下しないよう慎重に背負い上げる。

⚠ 警告：お子さまを背負うときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。

● おんぶ



ベルトの巻き方

足がベルトに入り込んでいる。

足が外に出ていて安全。



バックルのとめ方

① ゴムの下をくぐらせる

② バックルを差し込み、紐をゴムの上から出す



②バックルをとめる

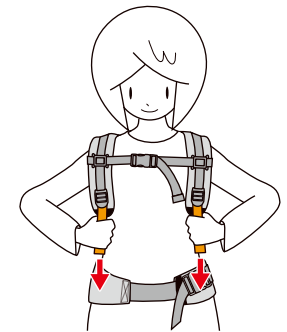
- 4 ①少し前にかがんでお子さまの体重を背中で受けながらブリッジバックルをとめる。

②お子さまの足が内側に入らないようにウエストベルトを巻き、バックルをとめる。



- 5 ブリッジベルト、ウエストベルトを苦しくない程度にしっかりと締め、余ったベルトをゴムでまとめる。

おんぶの際は前にかがみ、お子さまの位置を高く維持しながら動作を行うと調整がしやすく理想のおんぶ姿勢に近づきます。



- 6 左右の肩ベルトをお子さま、使用者共に苦しくない程度にしっかりと締める。
※下後方にベルトを引っ張ると軽い力で締められる。

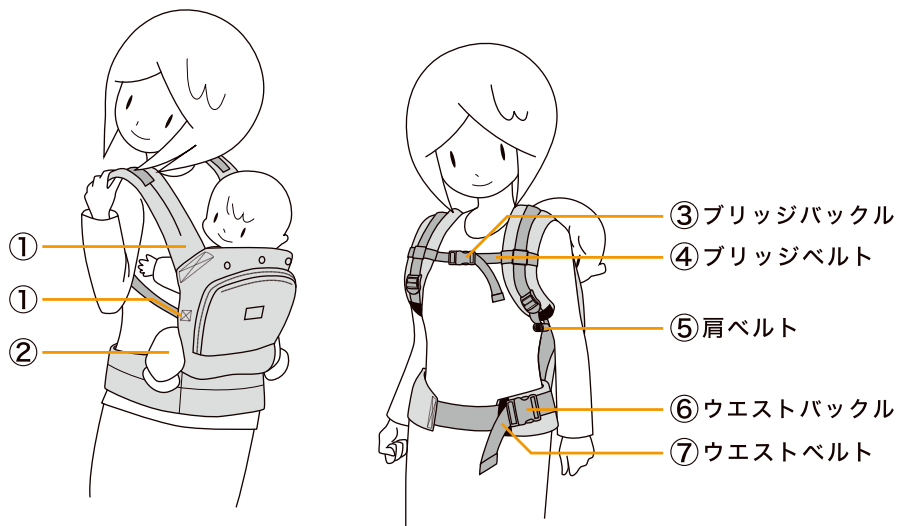
お子さまの位置を整え、鏡などで様子を見て問題がなければ完成。

● おんぶ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために鏡などに姿を映して状態を確認してください。

チェックポイント

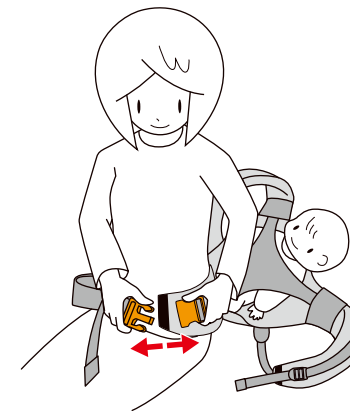
- ① 落下防止ホルダー / 落下防止ベルトがとまっている
- ② お子さまの両腕・両足が出ている
※お子さまの腕は成長に合わせて肩ベルトの上下どちらかから出す。
- ③ ブリッジバックルが確実にとまっている
- ④ ブリッジベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑤ 左右の肩ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑥ ウエストバックルが確実にとまっている
- ⑦ ウエストベルトが使用者の体格に合わせて調節されている



- 使用者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。
- 使用者からお子さまの顔が見えないので、約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。
- 正しく装着できていない場合はもう一度取り付け、調節を行ってください。

⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● おんぶのおろし方

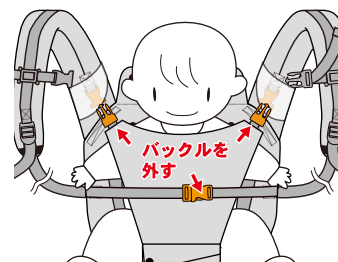


- 1 ① ベッドやソファなど、安全な場所に腰掛け、ブリッジバックルを外し肩ベルトをゆっくり外す。

② ゆっくりとベッドやソファなどに寝かすようにお子さまをおろす。

- 2 お子さまの安全を確認し、ウエストベルトを外す。

⚠ 警告：お子さまを抱っこひもからおろすときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。

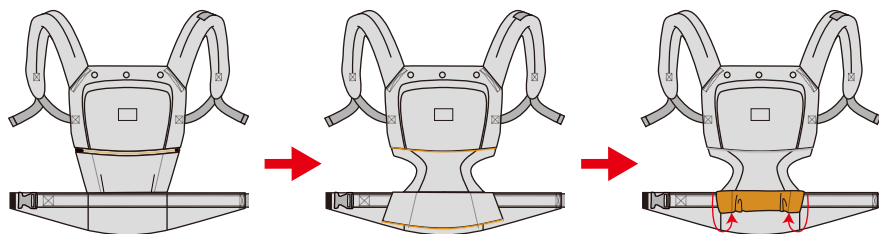


- 3 【落下防止ホルダー】【落下防止ベルト】のバックルを外し、お子さまを抱き上げて抱っこひもからおろす。

⚠ 警告：抱っこひもをお子さまの体の下に敷いたままにしないでください。寝返りなどでバックルや紐が絡み、思わぬ事故につながる恐れがあります。

● 前向きだっこ

使用時期目安：腰がすわった乳児期(7ヶ月～24ヶ月(体重13kg))
(使用者の視界を妨げない範囲でご使用ください)

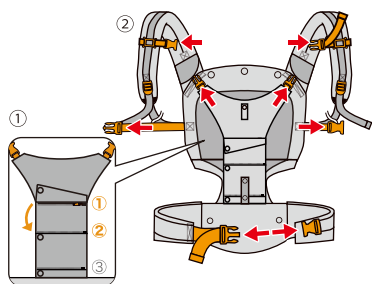


ファスナーを開ける

テープに巻き込む

- 1** 抱っこひも中央にあるポジション切替えファスナーを開け、ボトム部分をボトム収納ベルトに巻き込む

警告：お子さまの顔が抱っこひもに埋もれてしまう場合は前抱っこを中止し、顔がしっかりと抱っこひもから出るようになってからご使用ください。



落下防止ホルダーは①と②のファスナーを合わせて閉じる
*ベストが小さい場合は、ファスナーを閉じずに使用して下さい。その際はお子様の顔にホルダーが被らないよう注意してください。

- 2** ①落下防止ホルダーをお子さまの大きさに合わせる。

②矢印部分のバックルをすべて外す。

- 3** ①ウエストベルトを巻き、ウエストバックルをゴムの下を通しとめる。

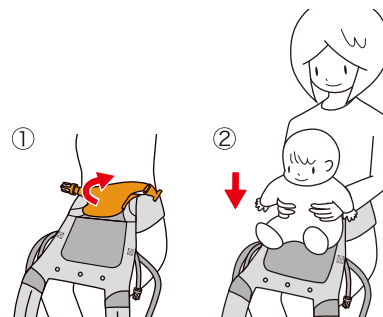
②右手で【ウエストベルト】を支えながら左手で紐を持ち、前方に引っ張って締める。

③抱っこひもが体の前に来るようウエストベルトを回す。



● 前向きだっこ

警告：お子さまを背負うときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。



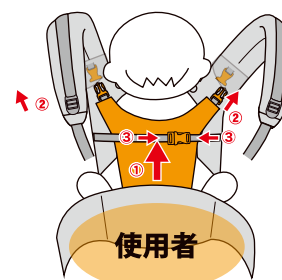
- 4** ①お子さまをのせる前に【落下防止ホルダー】をウエストベルトの内側に軽く挟み込んでおく。

②お子さまを抱き上げ抱っこひもに乗せる。

- 5** ①お子さまを抱っこひもで包むように持ち上げ、手で支えながら左右の肩ベルトを肩にかける。

②背中の方でブリッジバックルをとめる。

③ブリッジベルトを苦しくない程度にしめる。



- 6** ①【4-①】でウエストベルトに挟んでいた【落下防止ホルダー】を引っ張り上げる。

②肩ベルトの根元についているバックルにとめる。

③【落下防止ベルト】のバックルをとめる。

ホルダーがつけづらいときは P15 を参考にしてください。

- 7** ①お子さまのお尻を片手で持ち上げながら左右それぞれの肩ベルトをお子さま、使用者共に苦しくない程度にしっかりと締める。

※前方向にベルトを引っ張ると軽い力で締められます。

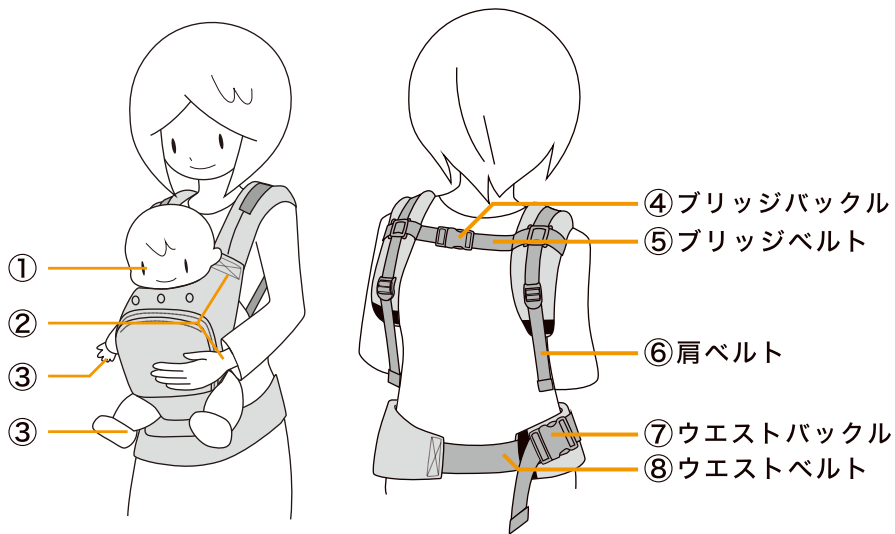
②お子さまの位置を整え問題がなければ完成。

● 前向きだっこ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために装着後の状態を確認してください。

チェックポイント

- ① お子さまの頭部が使用者の視界を妨げていない
お子さまの顔が抱っこひもに埋もれていない
- ② 落下防止ホルダー / 落下防止ベルトが確実にとまっている
- ③ お子さまの両腕・両足が出ている
※お子さまの腕は成長に合わせて肩ベルトの上下どちらかから出す。
- ④ 背中ブリッジバックルが確実にとまっている
- ⑤ ブリッジベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑥ 左右の肩ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑦ ウエストバックルが確実にとまっている
- ⑧ ウエストベルトが使用者の体格に合わせて調節されている

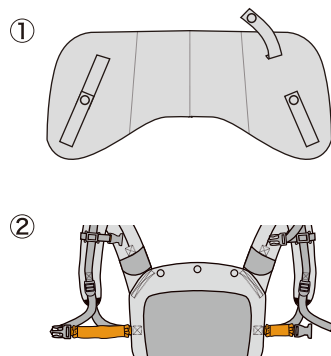


- ご使用の際はお子さまを手で支えてください
- 正しく装着できていない場合はもう一度最初から取り付け、調節を行ってください。

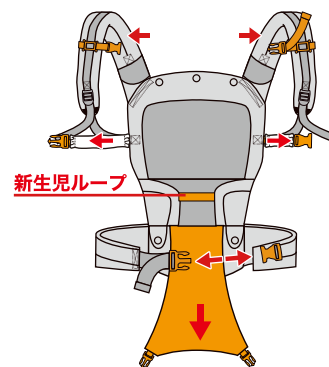
⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● 新生児縦だっこ

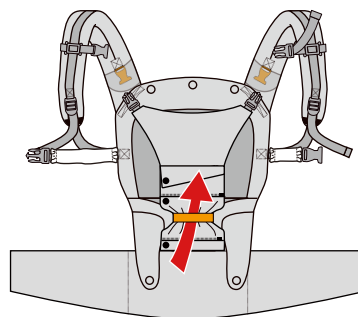
使用時期目安：生後0ヶ月(3.2kg)～首がすわる4ヶ月(体重約7kg)
(使用者の視界を妨げない範囲でご使用ください)
生後0ヶ月(3.2kg)～1ヶ月まではSGマーク制度の対象外です



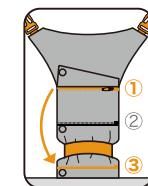
- 1 ① 付属の【ヘッドサポート】を用意する。
② 【落下防止ベルト】に付属のカバーを付ける



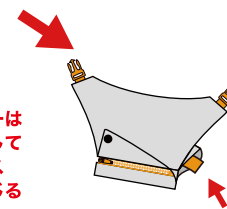
- 2 ウエストバックルとブリッジバックルを外す。
【落下防止ホルダー】のバックルを外し、めくった場所にある【新生児ループ】を確認する。



- 3 【落下防止ホルダー】を【新生児ループ】の下を通して引っ張り出す。



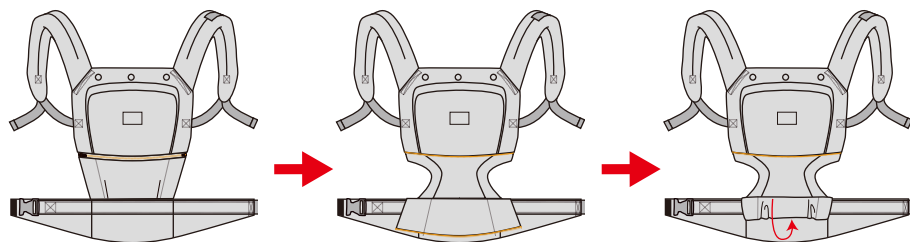
※落下防止ホルダーは新生児ループを通してから①と③のファスナーを合わせて閉じる



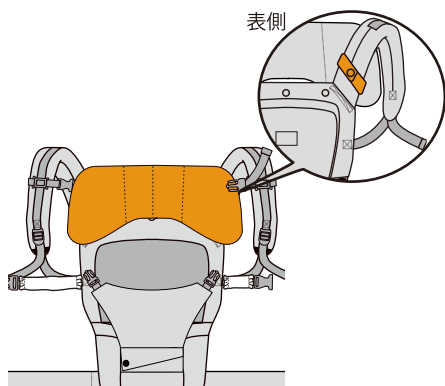
落下防止ホルダーで新生児ループを包み込むようにファスナーをとめる

- 4 【新生児ループ】を【落下防止ホルダー】で包み込むように①と③のファスナーを合わせてとめる。

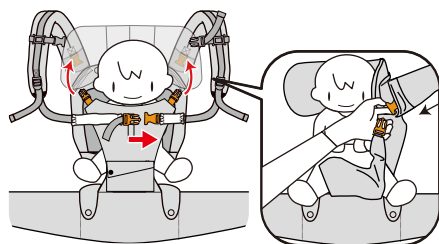
● 新生児縦だっこ



- 5 抱っこひも中央にある【ポジション切替えファスナー】を開け、ボトム部分をボトム収納ベルトに巻き込む



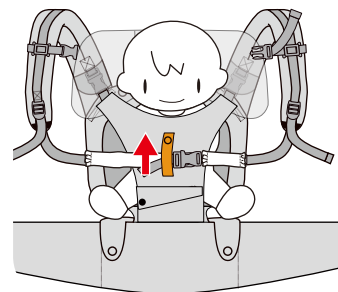
- 6 敷いた抱っこひもの上に【ヘッドサポート】を乗せ、表側の【ヘッドサポート固定テープ】ををめて抱っこひもに固定する。



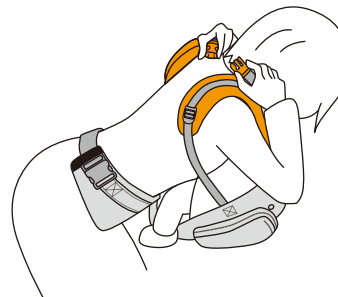
※肩ベルトを引き寄せ
るようにしてとめてく
ださい。

- 7 お子さまを抱っこひもに寝かせ【落下防止ホルダー】を上からかぶせて肩ベルト内側のバックルへとめる。

⚠️ ※バックルはヘッドサポートに隠れてとめにくい
ため、しっかりとまったかどうか引っ張って確認し
てください。



- 8 【落下防止ベルト】を【落下防止ホルダー】についているスナップテープで固定する。



- 10 お子さまに覆いかぶさるように近づき、肩ベルトを肩に通す。

ブリッジバックルをとめ、しめる。

お子さまを抱っこひもごと手で支えながら抱き上げる。



- 9 お子さまを寝かせた状態で先にウエストベルトをウエストに巻く。バックルをとめる際はゴムの下をくぐらせてからとめ、ウエストベルトをしっかりとしめる。

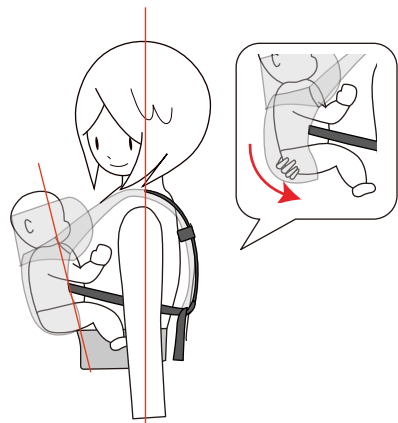


- 11 肩ベルトの長さを調節する。お子さまが苦しくならない程度にしっかりと締める。

お子さまと使用者の間に手のひらが
入るぐらいの間隙を空けておく。

⚠️ 警告：首すわり前のお子さまを抱っこする際は
お子さまの顔が埋もれていないかなどを定期的に確認し
てください。窒息の恐れがあります。

● 新生児縦だっこ



8 装着後、キャリアの中に手を入れ、赤ちゃんのお尻の穴を使用者のお腹に向けるイメージで姿勢を整える



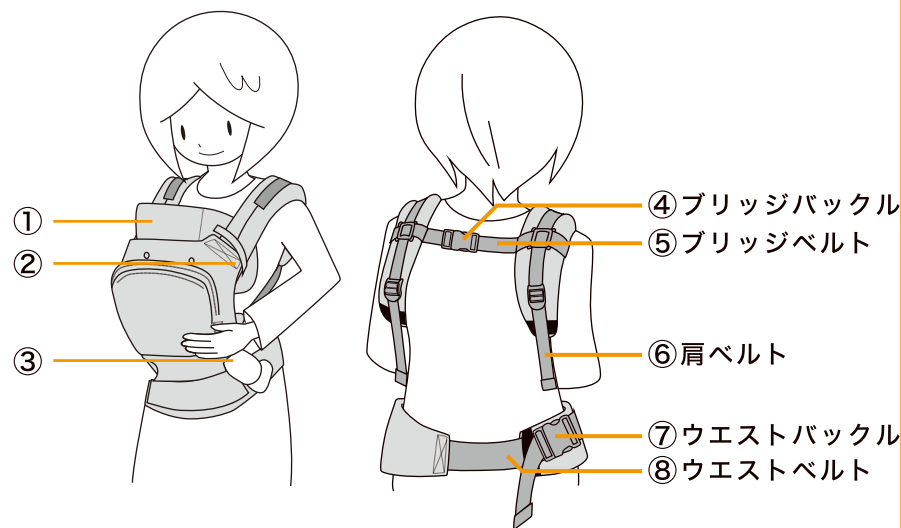
9 お子さまの位置を整え問題がなければ完成。

● 新生児縦だっこ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために装着後の状態を確認してください。

チェックポイント

- ① お子さまの頭部が使用者の視界を妨げていない
お子さまの顔がしっかりと確認でき気道が確保されている
- ② ヘッドサポートと抱っこひも本体が固定されている
- ③ お子さまの足が無理なく適切な状態になっている
- ④ 背中のブリッジバックルが確実にとまっている
- ⑤ ブリッジベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑥ 左右の肩ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑦ ウエストバックルが確実にとまっている
- ⑧ ウエストベルトが使用者の体格に合わせて調節されている



- ご使用の際はお子さまを手で支えてください
- 正しく装着できていない場合はもう一度最初から取り付け、調節を行ってください。

⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● お手入れについて

日常のお手入れ

- 汚れなどは湿らせた布でたたいて落としてください。その後、形を整え日陰で吊り干ししてください。

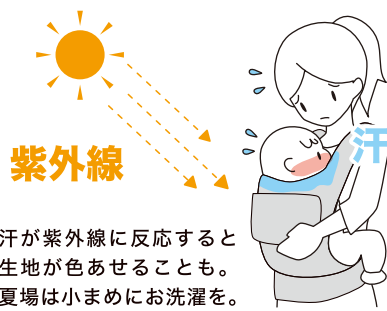
洗濯についてのご注意

- 洗濯の際はまとめゴムを外しバックルをとめ洗濯ネットに入れて30℃以下のぬるま湯か水で洗濯(弱水流)してください。 ※まとめゴムをとめたまま洗濯するとゴムが伸びます。
- 蛍光剤入りの洗剤を使用すると、色移りすることがありますので使用しないでください。
- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別々に洗濯してください。
- つけ置き洗いはしないでください。
- 乾燥機は使用しないでください。バックルや内部のウレタンなどの破損につながります。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 抱っこひもに汗や汚れなどがしみ込んだ状態のまま使用を続けた場合、生地の変色や色あせにつながるおそれがあります。適度に洗濯などを行ってください。
- 濡れた状態で使用した場合、衣類や肌に色移りすることがあります。



商品劣化について

- 汗やよだれなどをそのままにしておくと雑菌が繁殖して肌がかぶれる恐れがあります。



- 汗が紫外線に反応すると生地が色あせることも。夏場は小まめにお洗濯を。

商品の劣化を防ぐため最低1ヶ月に1度は洗濯をしてください。

保守・点検

- ご使用の際には、製品のほつれ、きず、破れ、バックルなど部品の破損がないか確認してください。

⚠ 注意

上記を一か所でも見つけた時は、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると故障や事故につながるおそれがあります。

保証書

商品名	ロット番号		
お買い上げ年月日	年	月	日
保障期間	お買い上げ日より1年間（但し保証基準による）		
お客様情報	ご住所 〒 お名前	TEL	
販売店	ご住所 〒 お名前	TEL	

保証規定

- ① 一度ご使用になった製品は原則としてお取替えできません。
- ② 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態にて、万一故障した場合は無償修理をいたします。初期不良以外の場合は送料をご負担いただきます。
- ③ 保障期間中でも次のような場合には保証の対象外になります。
 - プラスチック部品の自然劣化による変色
 - 縫製品の傷や破れ、変色
 - お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 本書にお買い上げ日、お客様のお名前、販売店名の記入が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 本書のご提示がない場合
 - 一般家庭以外で、業務用やレンタルなどでご使用され故障した場合
 - 修理の場合に要する運賃などの諸経費
 - 使用済みの本製品をご家族やご友人、知人などから譲り受けた場合
- ④ 製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。
- ⑤ 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしかねます。
- ⑥ 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないことがあります。

- お買い上げ後、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名をただちにご記入ください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間経過後の修理などについてご不明な場合は、弊社お客様サポートセンターに直接お問い合わせください。

商品に関するお問い合わせ

株式会社 ナップナップ 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-5-7 三ノ輪ビル7階
TEL:0120-900-720 napnap フリーダイヤル 受付時間: 10:00 ~ 17:00 (土・日・祝日を除く)